

伊豆における 観光型MaaS 実証実験について



龍宮窟（下田市）

2019年10月8日
東急株式会社

私はいま、
日本ではなく
地球を旅しています。

大人に
なったら、
したいこと。

大人の休日
倶楽部
会員募集中

[illegible]

○Q50歳以上の方には、JR東日本線・JR北海道線のかきあげ何回でも65%割引の大人の休日倶楽部 **シニア**、男性満65歳以上・女性満60歳以上の方には、30%割引の大人の休日倶楽部 **シニア**、**北海道新幹線および伊豆新幹線は割引になりませんのでご注意ください。** ○くおしはJR東日本・JR北海道の主な駅・びゅうプラザ・ツインクルプラザにある入会申込書をご覧ください。 www.jreast.co.jp/otona/まて

○くわしくはJR東日本・JR北海道の主な駅・びゅうプラザ・ツインクルプラザにある入会申込書をご覧ください。www.jreast.co.jp/otona/まで



1.伊豆の現状と課題



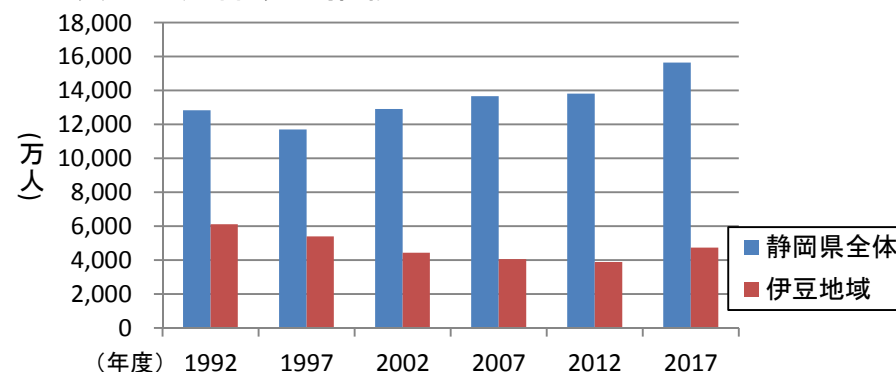
- ✓ 多くの観光資源が集まる魅力的な地区。2012年から観光客数も再び微増
- ✓ 高齢化率は約3割、人口減も進む。観光客・住民の2次交通維持が課題

■主な観光施設



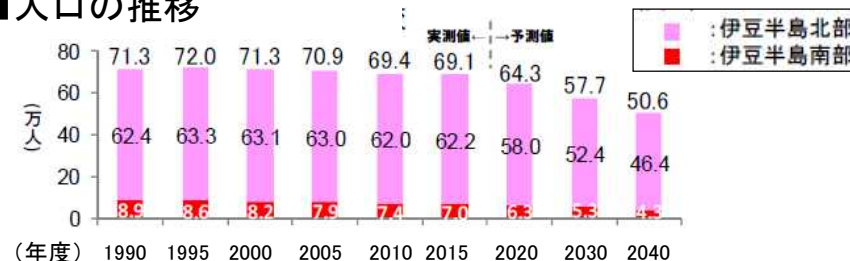
静岡県HP「伊豆半島道路ネットワーク第1回会議資料」から引用

■観光交流客数の推移



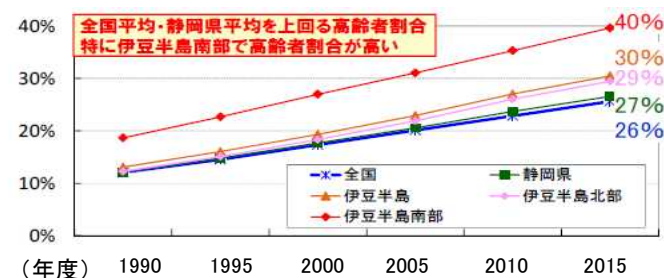
出典：平成29年度静岡県観光交流の動向

■人口の推移



静岡県HP「伊豆半島道路ネットワーク第1回会議資料」から引用

■高齢者割合の推移



1990～2010：国勢調査、2015：住民基本台帳

静岡県HP「伊豆半島道路ネットワーク第1回会議資料」から引用

1.伊豆の現状と課題

- ✓ 鉄道5路線、バス390系統、タクシー数社がありながら、来訪手段は「8割が車」
- ✓ 2次交通を利用した周遊促進が、交通事業者含めた地元経済にとっての課題

■主な公共交通網

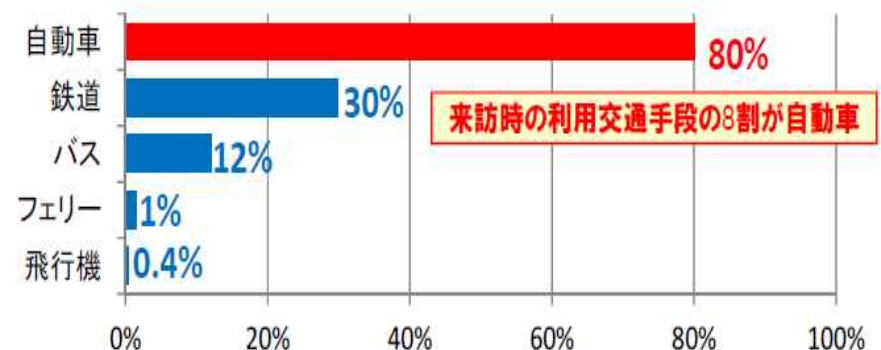


■主な交通事業者

鉄道	JR東日本、JR東海、伊豆急行、伊豆箱根鉄道	5路線
バス	東海自動車グループ、伊豆箱根バスグループ	390系統
タクシー	伊豆急東海タクシー、伊豆箱根タクシー等	約250台

■伊豆半島来訪時の利用交通手段

(移動に利用した交通手段をすべて回答(複数回答可))



出典: 美しい伊豆創造センター

出典: 静岡県における観光の流動実態と満足度調査(H25.3)
静岡県HP「伊豆半島道路ネットワーク第1回会議資料」から引用

伊豆への楽しい旅に向かう道中のお客さまのキモチ

駅に着いたら
タクシーはいるんだろうか・・・

旅館の送迎バスまで
2時間あるけど
その間どうすれば・・・

明日チェックアウトしてから
どこへ行こう、何しよう
何で行こう？

行きたいところがあるのに
2次交通に関するストレスを抱いている

2.観光型MaaSで目指すもの



伊豆に深いご縁を持つJR東日本と東急電鉄が
2次交通とそれに伴う地域の課題解決のためにタッグを組みます！



2.観光型MaaSで目指すもの



【観光における伊豆の2次交通の課題】

- 空港や駅からの2次交通が分かりにくい（バス・タクシー等）
- 2次交通の継続性（人手不足、本数減少等）
- 2次交通や目的地を包含したアプリがない



【現状のままだと伊豆の将来は・・・】

- 利用者及び2次交通従事者減少による、地域交通としての危機
- 2次交通の不便さにより、長期滞在の観光客が減少
- ICTを活用した観光地づくりが進まず、旧来型の観光地として埋没



【こうした課題解決のために】

**空港や駅から目的地（観光地、宿泊地）までの2次交通をスマホで予約・決済し、
旅行者にシームレスな移動を提供する「観光型MaaS」を推進することで、
伊豆をICTを活用した観光の先進地域へ！**

3. 実証実験の概要



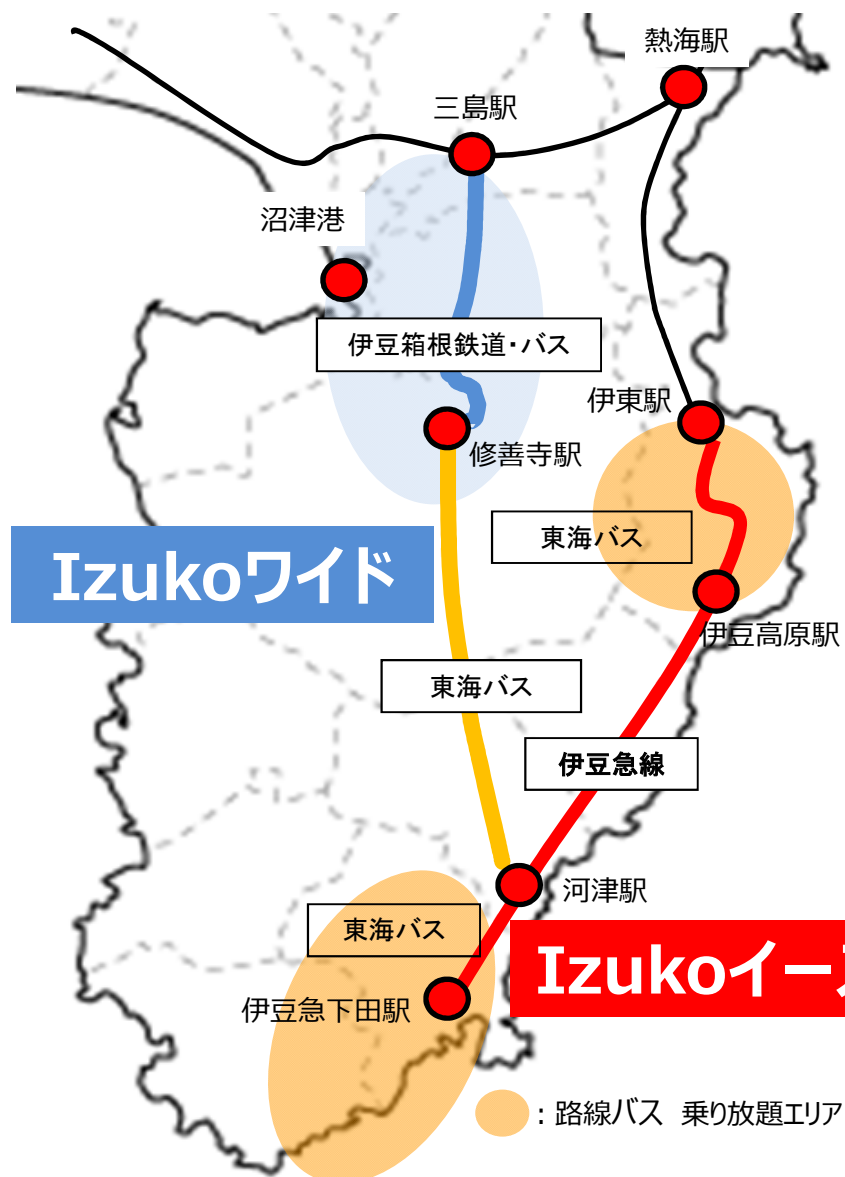
- ✓ 専用アプリ“**Izuko**”をつくります
- ✓ **デジタルフリーパス**を導入します
- ✓ **観光施設**の入場料の**決済**や**交通機関**の**予約**ができます
- ✓ **オンデマンド**型交通を導入します
- ✓ **デジタルマップ**を整備します



静岡デスティネーションキャンペーン（2019年4月～6月）にあわせて

伊豆で実証実験

3. 実証実験の概要



- 事業主体：当社、JR東日本
- 実験期間：合計6か月間
PHASE①：本年4月1日～6月30日
PHASE②：本年12月1日～2020年3月10日
- 専用アプリ
アプリ名：Izuko
二か国語対応（日、英）
- 主力商品
デジタルフリーパス商品（2日間有効）
【Izukoイースト】伊豆急（伊東⇔下田）往復
【Izukoワイド】三島⇒修善寺⇒河津⇒下田⇒伊東
- 予約・決済できる交通・観光施設
 - 鉄道（フリーパス利用時決済）
 - 路線バス（フリーパス利用時決済）
 - オンデマンド乗合交通（予約）
 - レンタサイクル、レンタカー（予約）
 - 観光6施設（決済）

3. 観光型MaaS アプリ概要



3. Izukoを使ってできること (PHASE1 : 4 / 1 ~ 6 / 3 0)



経路検索



鉄道



路線バス



決済

■ デジタルフリーパス (2 種類)

①「デジタルフリーパス・Izukoイースト」: 3, 7 0 0 円

乗り放題: 伊豆急線全線 + 伊東市内および下田駅周辺路線バス

②「デジタルフリーパス・Izukoワイド」: 4, 3 0 0 円

乗り放題: 伊豆箱根鉄道駿豆線全線、修善寺および下田駅周辺路線バス等

途中下車可能: 東海バス (修善寺-河津)、伊豆急線 (河津-伊豆急下田-伊東)

■ 観光施設入場券 (6 施設 7 種類)

・ 小室山観光リフト、下田港内めぐり、下田海中水族館等



予約



オンデマンド交通



レンタサイクル



レンタカー

※ レンタカー・レンタサイクルはリンク経由

4. アプリ画面イメージ



トップ画面



デジタルフリーパス
購入画面



デジタルフリーパス
提示画面



5. 下田「旧市街」 新交通の立ち上げ（オンデマンド乗合交通）



下田「旧市街」の交通課題を解決すべく、
地元タクシー会社と新しい2次交通を試行

- 乗降場所：下田「旧市街」内の16カ所
- 運行会社：伊豆急東海タクシーはじめ地元3社
- 使用車両：ジャンボタクシー（1～2台/日）
- 乗車料金：Phase 1は無料、Phase 2は有料

【乗客】スマホで行先を選び配車



【運転手】AIが最適走行ルートを表示





AIオンデマンド乗合交通 乗降場所一覧

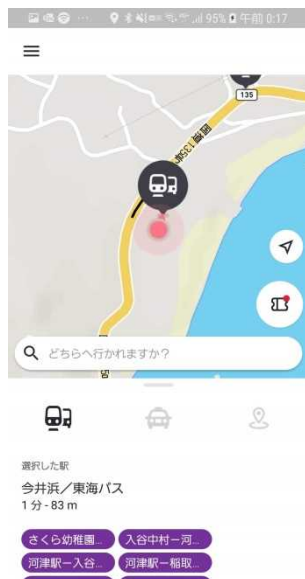




2019年4月1日～6月30日 実証実験中につき無料

AIオンデマンド乗合交通 ご利用方法

①アプリを起動

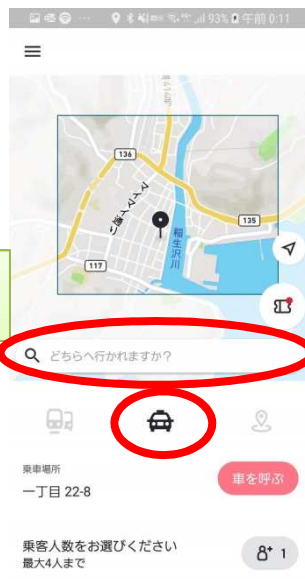


②プロフィールを入力



名前(姓・名)、
電話番号は入力必須

③オンデマンドモードに切替



④出発地・目的地を入力



⑤乗車人数を入力 ⑥「車を呼ぶ」をタップ



⑦予約が完了



車両の現在位置
(リアルタイム)

到着予定時間

⑧指定された乗降場所で待機



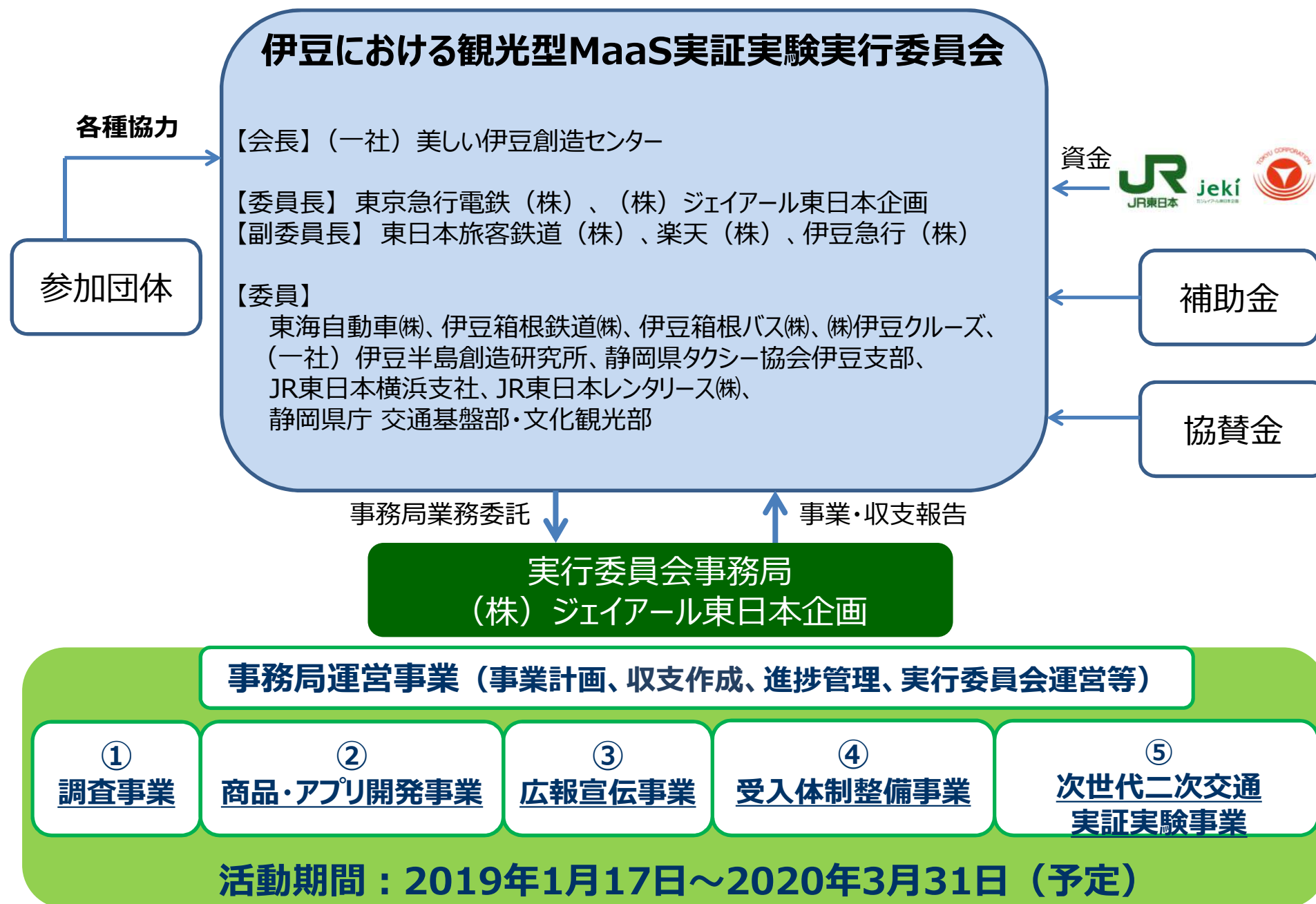
乗降場所の
足下に貼って
あるシール

⑨車両が到着



降車場所までドライバーがご案内します

6.推進体制（実行委員会形式）



7.各事業内容



①調査事業

行動変化調査、各種利用者調査、地域意識調査、インバウンド調査など

【主な連携先】静岡県、伊豆箱根鉄道（株）、伊豆急行（株）

②商品・アプリ開発事業

専用アプリ開発、デジタルフリーパスや施設割引等の商品企画など

【主な連携先】各交通事業者、各観光施設

③広報宣伝事業

事業宣伝計画・実施、アプリのダウンロードや購入販促、アプリ名称決定など

【主な連携先】実行委員会のすべてのメンバー

④受入体制整備事業

観光案内所等の体制整備、コールセンター整備、キャッシュレス対応強化

【主な連携先】静岡県、伊豆急行（株）、各交通事業者、各観光施設

⑤次世代2次交通実証実験事業

オンデマンド乗合交通の計画・運行・効果測定

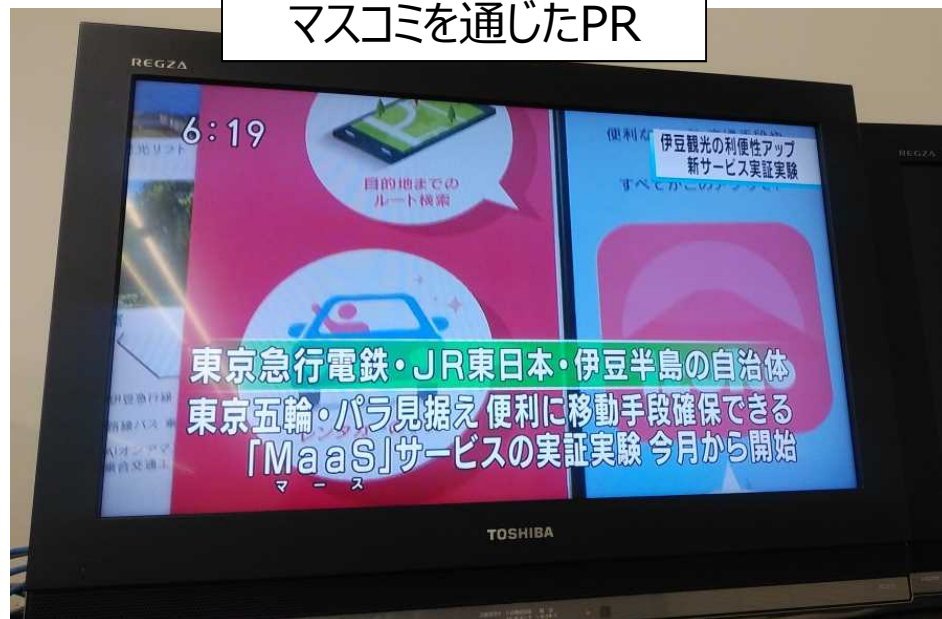
【主な連携先】静岡県、伊豆急東海タクシー（株）など下田タクシー会社

PHASE ①
(4月1日～6月30日)

PHASE ②
(12月1日～3月10日)

8.各事業内容

マスコミを通じたPR



電車内等でのPR



各所イベントでのキャンペーン



下田市民向けの操作説明会



9. 実証実験を通じて達成したい内容



■ 定量目標

- ダウンロード数 2万件
- デジタルフリーパス 1万購入

■ 定性目標

- ①シームレスな移動実現による周遊効果と地域活性化
- ②IoT活用による交通・観光事業等の最適化・スマート化
- ③キャッシュレスや多言語対応など観光拠点としての課題解決
- ④オンデマンド乗合交通など新規施策を通じた地域課題解決
- ⑤本取り組みを支える新たな担い手の育成・協働

10. 実証実験 最新実績



凡例

目標

2019.4.1～11.30の到達目標

実績

6月30日時点の実績値

Izuko
ダウンロード数

目標

20,000 DL

実績

23,231 DL

1日平均 255DL

デジタルパス
購入数

目標

10,000 枚

実績

1,045 枚

■購入数の伸び悩み要因

- ・アプリ仕様上の問題（買い辛い）
- ・商品価値（エリアの限定性等）

今後の取り組み

◎デジタルパスの購入増

⇒①アプリ改修 ②商品価値の向上 ③宿泊施設との連携

10. 実証実験 実績



オンデマンド交通
利用者

1,051人

(運休10日:4月29日～5月5日、5月17日～19日)

1日平均 13人

■主な利用先

- ・伊豆急下田駅
- ・了仙寺
- ・ペリー公園

コールセンター
受電数

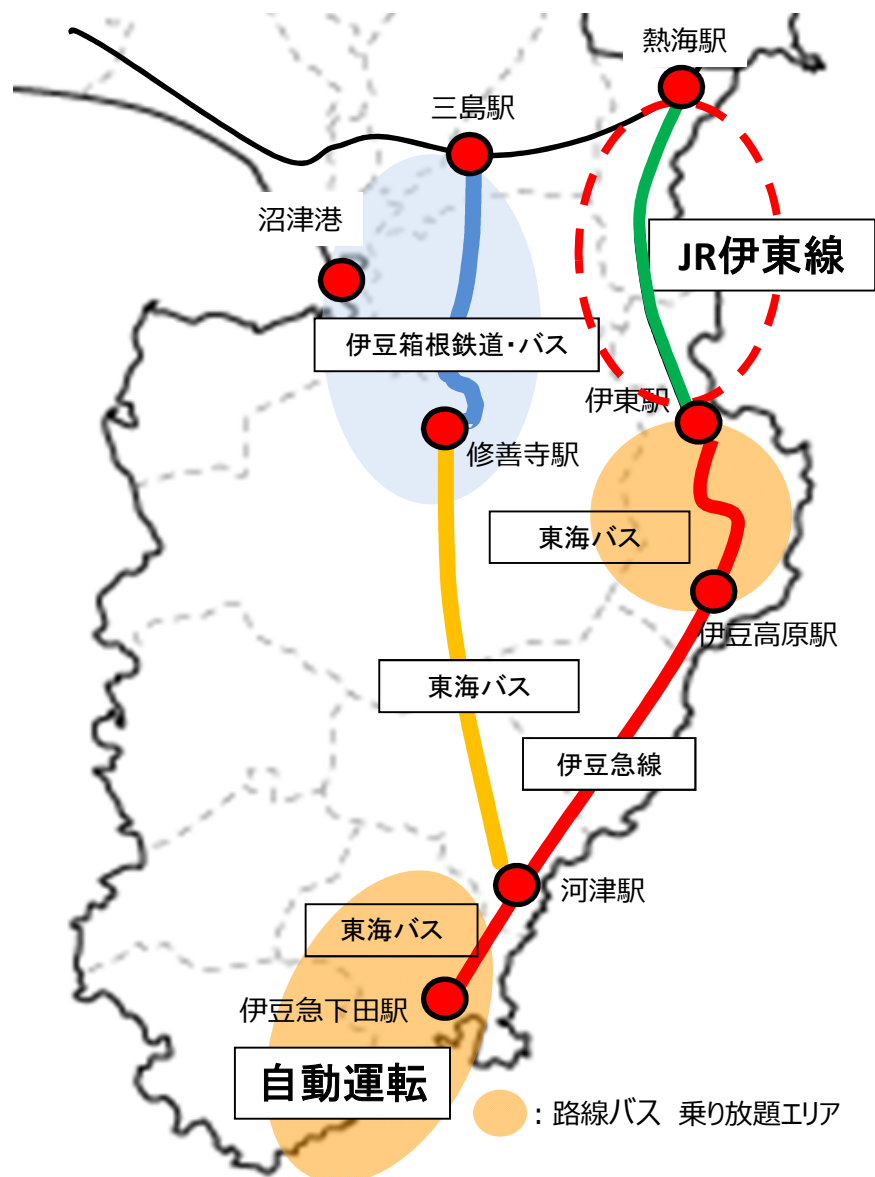
278本

1日平均 3.0本

■主な問合せ内容

- ・アプリ操作方法
- ・デジタルフリーパスの詳細
- ・オンデマンド交通の利用方法
- ・ご意見、クレーム
 - アプリが使い辛い
 - オンデマンド交通の範囲が狭い

11. Phase2に向けて



	Phase 1	Phase 2
期間	2019年 4月1日 ～6月30日	2019年12月1日 ～2020年3月10日 (予定)
サービス名称	Izuko	
対応言語	日本語・英語	
経路検索機能	鉄道・バス	鉄道・バス・飛行機・船舶
デジタル チケット	デジタルフリーパス (企画乗車券)	
	2種	6種
	デジタルパス (観光施設入場券)	
	7種	12種 (不正防止機能追加)
決済方法	クレジットカード	
オンデマンド 交通 (下田市街)	【停留所】 16か所 (無料) ※運休10日間	【停留所】 27か所 (有料・デジタルパス対応) ※運休予定10日間 (年末年始)

- ・経路検索機能をはじめ使い勝手の改良
- ・商品内容の拡充、見直し
- ・オンデマンド交通の強化、自動運転の試行